



【小貝川決壊から40年】過去の水害を振り返り、災害への備えを考えよう パネル展「市民防災フェア2021」を開催(8/20～8/27)



▲展示する写真の一部(左:龍ケ崎市姫宮付近、右:龍ケ崎市川原代付近)

防災・減災日本一を目指す龍ケ崎市では、昭和56年に小貝川が決壊した日である8月24日を前に、本市における過去の水害を当時の写真や映像などで振り返るパネル展「市民防災フェア2021」を令和3年8月20日(金)から8月27日(金)までの間、サプラ1階・光のモールで開催します(自由見学・入場無料)。

本市では毎年、小貝川が決壊した日の前後に総合防災訓練や防災講演会などを開催し、市民に対して水害への備えを啓発しています。

小貝川が決壊から40年を迎える今年は、国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所と共催し、当時の様子を幅広い世代の方に分かりやすいよう、写真パネルや映像で紹介します。また、水害時の避難方法や政府が作成したコロナ禍における避難のポイントなどを展示し、災害をより現実的に考えていただける機会となります。

■ 当時の降雨と水位の状況

昭和56年8月に起きた洪水は、台風によるものであり、利根川と鬼怒川の上流山間部では、総雨量300～500mmに達し、利根川では警戒水位を大幅に超え、警戒警報が発令されました。

この洪水により、小貝川下流左岸(龍ケ崎市高須橋付近)では、24日午前2時頃に堤防が決壊しました。

■日 時	令和3年8月20日(金)～8月27日(金) 午前10時から午後8時まで(サプラの営業時間に準ずる)
■場 所	サプラ1階・光のモール (所在地:龍ケ崎市小柴5丁目1番地2)
■主 催	主 催:龍ケ崎市 共 催:国土交通省 関東地方整備局 利根川下流河川事務所
■その他	自由見学・入場料無料
担当課	龍ケ崎市 危機管理課 消防グループ 担当者:佐藤・秋山(さとう・あきやま) 連絡先:0297-60-1514(直通)